

【目標達成計画】

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		地域に根差したサービスの提供を求められる地域密着型サービスでは、地域との交流が必要不可欠である。事業所に対する理解が進み、より一層の地域交流が図られることを期待する。	施設側から地域へ発信、行動を起こし、地域の方との交流をスタートとする。関係性の構築とともに、防災についてなどの協力を得られるような体制を目指す。	地域のボランティア等を依頼し、地域の方との交流をすることで、まずはグループホームがあることを知っていただく。また、地域の行事に積極的に参加し、顔なじみの関係を作っていく。	12ヶ月
2		会議の出席者より提案された意見についての取り組みや報告がなされていないケースがある。今後も積極的な意見を出してもらうためにも、意見に対して確実に対応していくことを期待する。	会議での内容を報告だけでなく、前回の会議で取り上げられた事項の改善や対策などしっかりと報告することで、その場限りの会議にならないように実施する。	家族や地域の方々からの質問事項等をしっかりと職員間で検討し次回の会議に報告できるようにする。また、ご家族様へ会議の資料や議事録を郵送するなど出席できなかった家族へも情報を提供する。	12ヶ月
3		看護師が事業所に雇用されたことで、質の向上が図られている。今後は誰でも同じ内容と質で対応が可能となるよう、マニュアルを充実させることを期待する。	ターミナルケアについてのマニュアル・職員指導についての手順などを作成する。	看護師と連携をとり、ターミナルケアについてのマニュアルをわかりやすく作成する。また、作成後には研修を取り入れ、誰でも同じ内容と質で対応が出来るように指導していく。	12ヶ月
4		昨年からの懸案である地域との協力体制の確立が進展していない。避難の確立は職員だけでは困難であり、安心安全の向上のために地域の協力が得られる取り組みを期待したい。	第一に施設での防災訓練に地域の自主防災の方々に参加いただき、施設の状況を知っていただく。	現在の施設の入居者様の状況をまとめた書類の作成、避難等の詳細をしっかりとまとめる。実際に訓練に参加していただき、現状での改善点等を確認しながら、地域の方々の協力体制が取れるよう努力していく。	12ヶ月
5					ヶ月

※項目の欄は、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入するか、コピーしてページを増やして下さい。